

令和 4 年 10 月 31 日

HbA1c 適正運用機構

委員長 村上正巳

サーベイ検討小委員会委員長 佐藤麻子

HbA1c サーベイ（精度管理調査）に関するお願い（HPLC 法以外回答期限延期）

清秋の候、貴施設におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より HbA1c 適正運用機構の活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、当機構におきまして HbA1c サーベイ（精度管理調査）を下記の要領で実施することを計画いたしました。つきましては、貴施設にご協力いただけましたら幸甚に存じます。

#### 概要

2012 年、HbA1c の適正な国内認証の監視と測定値の維持管理を行い、HbA1c（NGSP 値）の適正かつ健全な運用がなされることを目的として HbA1c 適正運用機構（<http://hbalc-proper.org>）が設立されました。2013 年に「HbA1c NGSP 値のサーベイ」を実施し、2012 年 4 月からの NGSP 値の移行および普及が順調に行われているかについて検討し、糖尿病 58 (1) 2015 (別紙) に報告しております。

前回の精度管理調査より約 10 年が経過し、検体の処理法や測定法による測定値の誤差が問題になってきております。そこで、HbA1c 適正運用機構では、国内の HbA1c 精度管理調査を下記の通り実施したいと考えております。

#### HbA1c サーベイ実施

主催機関： HbA1c 適正運用機構  
検体関連業務受託機関： 一般社団法人 検査医学標準物質機構（ReCCS）  
NGSP ASRL # 1 検体準備、NGSP 値測定、発送  
目的： HbA1c NGSP 値の精度管理調査  
時期： 2022 年 12 月予定  
規模： 約 1000 施設  
目標値： NGSP SRL にて測定 NGSP 値（%）  
検体： 輸入血液 シングルドナー 検体量 0.5mL  
検体濃度： 2～3 レベル（HbA1c6～8%を含む）

1993年より糖尿病学会の糖尿病関連指標委員会が中心となり、HbA1cのサーベイが5回行われました。現在、サーベイに関する業務はHbA1c適正運用機構が引き継いでおります。1994年（島先生）のHbA1cのサーベイではCV9.5%でしたが、2013年のHbA1c適正運用機構によるサーベイでは3.0%以内とより精密になっていることを確認しております。

今回のHbA1cサーベイでは、ターゲット値（NGSP値）との相違を見ながら全国の施設間差を把握したいと思います。しかし、約1000施設という限界がありますので、地域、測定法などできるだけ満遍なく行うためにHbA1c適正運用機構にて施設の選択をさせていただきます。従って、参加希望をしていただいた施設すべてが参加できるわけではありません。また、参加費は無料ですが、医師会サーベイのように個別の結果の評価は送付せず、論文にてかえさせていただきます。そのことをご理解いただいた上で、貴施設におきましては、是非参加の申し込みを行っていただきたいと思っております。

参加施設は、後日ご連絡しますが、サンプルを送付するためのアンケートにお答えいただくことと、指定日（12月の平日）にHbA1cの測定をお願いいたします。詳細は追ってご連絡いたします。

HbA1cサーベイにご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【回答用URL】（HPLC法以外の締め切りを11月4日（金）までに延期致しました）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSei8GG33XEZ0EUTbJrZdkbiGmlWtQeGOLGhUBWoGtJGdqUuyw/viewform>